



独立行政法人
大学改革支援・学位授与機構
National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.187 2018 December

今月の記事

Top News

- 平成30年度人材育成セミナー「IRデータ分析ワークショップ（第1回）」を開催
……………1

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与

- 2,412人から学士の学位授与の申請
—平成30年度10月期申請分—
……………3

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与

- 22人から博士の学位授与の申請
—大学院博士課程相当の課程修了者—
……………6

質保証連携

国内外の質保証機関等との連携

- オーストラリアの質保証機関TEQSAと
スタッフ交流を実施
……………7

評価事業

機関別認証評価等について

- 訪問調査の実施
……………8

機構の窓

- 会議の開催状況
……………9

主要行事日程

- Schedule（12月～2月）
……………10

TOP NEWS

○平成 30 年度人材育成セミナー「IR データ分析ワークショップ（第 1 回）」を開催

当機構では、大学及び評価機関等の質保証に係る活動を実効性のあるものとするため、大学等と連携して質保証に係る人材の能力向上を目的として、昨年度より「人材育成セミナー」を開催しています。平成 30 年度は、昨今、大学の現場において重要性が高まっている「IR（インスティテューショナル・リサーチ）」をテーマに、当機構が各大学から収集し、公表している「大学基本情報」を例に用いたデータ分析の手法と、IR に関する基礎的な知識習得を目指す内容のワークショップ（2 回開催）を企画しました。

当ワークショップの第 1 回は、平成 30 年 11 月 12 日（月）に、竹橋オフィス 1112 会議室にて開催しました。当日は、講師として山形大学学術研究院教授の浅野茂氏と同教授の藤原宏司氏を招き、大学等の高等教育機関や関係機関において IR 業務に携わっている方々を中心に、29 名の参加がありました。



開会挨拶をする山本研究開発部長

午前のプログラムでは、山本研究開発部長の開会挨拶に続き、当機構大学ポートレートセンター事務室による「大学における情報活用ガイドブック」の解説、浅野氏による「山形大学における公開データを用いた IR 分析事例」と題した事例紹介、藤原氏による「Power Query エディターを用いたデータ形式の変形について」と題した講義が行われました。藤原氏の講義では、BI ツール（Microsoft Power BI Desktop）で分析するための大学基本情報の変形方法について、参加者が実際にパソコンを操作しながら学びました。



講義を行う浅野教授



講義を行う藤原教授

午後のプログラムでは、当機構評価企画課による BI ツールの操作説明の後、参加者が大学基本情報を活用した簡単な分析レポートの作成を通じて、BI ツールの基本的な操作方法を習得しました。続いて、参加者と浅野、藤原両氏との質疑応答が行われ、BI ツールの操作方法について会場全体で理解を深めました。最後に、藤原氏による「山形大学 OIRE による大学基本情報の可視化事例」と題した事例紹介では、山形大学で実際に作成している分析レポートが紹介され、より発展的な分析事例や今後の展望等について、会場内で活発な意見交換が行われました。



演習に取り組む参加者



質疑応答の様子

最後に、佐藤評価事業部長の閉会挨拶をもって、ワークショップは盛況のうちに終了しました。
なお、第2回ワークショップは、平成31年2月1日（金）の開催を予定しています。

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

■短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与

〇2,412人から学士の学位授与の申請 ー平成30年度10月期申請分ー

短期大学、高等専門学校卒業生及び専門学校修了者等582人から、19専攻分野38専攻の区分にわたり学士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、平成30年11月9日（金）開催の学位審査会において機構長から学位授与の可否について審査の付託があり、学位審査会では、修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を担当する専門委員会の指定が行われました。

各専門委員会における修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を経て、平成31年2月15日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には平成31年3月末までに学士の学位を授与する予定です。

なお、申請に当たっては、インターネットを利用して申請ができる「電子申請システム」を導入しており、郵送申請とあわせて利用されています。（平成31年度より、申請方法は原則として電子申請のみとなります。）

また、短期大学、高等専門学校の特例適用専攻科修了見込み者1,830人から、9専攻分野17専攻の区分への特例による学士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、平成30年11月9日（金）開催の学位審査会において機構長から学位授与の可否について審査の付託があり、学位審査会では、修得単位の審査及び学修総まとめ科目の履修に関する審査を担当する専門委員会の指定が行われました。

各専門委員会における修得単位の審査及び学修総まとめ科目の履修に関する審査を経て、平成31年2月15日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には平成31年3月末までに学士の学位を授与する予定です。

<平成30年度10月期学士の学位授与申請者数>

（基礎資格別）

基礎資格	申請者数（人）
短期大学卒業生	555 [238]
高等専門学校卒業生	1,599 [1,592]
専門学校修了者	205
高校等専攻科修了者	5
大学中退者	28
飛び級	2
大学卒業生	17
外国資格	1
合計	2,412 [1,830]

（見込み申請者の内訳）

区分	申請者数（人）
短期大学専攻科修了見込者	566 [238]
高等専門学校専攻科修了見込者	1,600 [1,592]
合計	2,166 [1,830]

※ []内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

※ []内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

(専攻の区分別)

専攻分野の名称	専攻の区分	申請者数(人)
文学	国語国文学	4
	英語・英米文学	7
	歴史学	1 [1]
	哲学	1
	心理学	1
教育学	教育学	176 [108]
教養	比較文化	4
社会科学	社会科学	2
法学	法学	1
経済学	経済学	3
経営学	経営学	11 [10]
理学	数学・情報系	3
	物理学・地学系	2
	生物学系	1
	総合理学	1
薬科学	薬科学	2
看護学	看護学	301 [31]
保健衛生学	検査技術科学	17 [11]
	臨床工学	2
	放射線技術科学	12
	理学療法学	24
	作業療法学	5
	言語聴覚障害学	23
鍼灸学	鍼灸学	2
口腔保健学	口腔保健衛生学	65 [34]
	口腔保健技工学	9
柔道整復学	柔道整復学	1
栄養学	栄養学	55 [33]

専攻分野の名称	専攻の区分	申請者数（人）
工 学	機 械 工 学	394 [391]
	電 気 電 子 工 学	517 [510]
	情 報 工 学	211 [210]
	応 用 化 学	179 [178]
	生 物 工 学	26 [26]
	材 料 工 学	45 [44]
	土 木 工 学	148 [146]
	建 築 学	66 [66]
	社 会 シ ス テ ム 工 学	12 [11]
農 学	農 学	1
家 政 学	家 政 学	6
芸 術 学	音 楽	31
	美 術	40 [20]
合 計		2,412 [1,830]

※ []内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

■機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与

○22人から博士の学位授与の申請 ー大学院博士課程相当の課程修了者ー

大学院の博士課程に相当する教育を行う課程として認定されている防衛医科大学校医学教育部医学研究科の平成30年9月修了者22人から、博士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、平成30年11月9日（金）開催の学位審査会において、機構長から学位授与の可否についての審査の付託があり、これを受けて学位審査会では、論文の審査及び試験を担当する専門委員会として、医学・薬学専門委員会が指定されました。

専門委員会における論文の審査及び口頭試問を経て、平成31年2月15日（金）開催予定の学位審査会で最終審査が行われ、平成31年2月22日（金）に学位記伝達式を行い、合格者には防衛医科大学校を通して、博士（医学）の学位を授与する予定です。

<博士の学位授与申請者数>

認定課程名	専攻分野	申請者数(人)
防衛医科大学校 医学教育部医学研究科	医 学	22
合 計		22

質保証連携

国内外の質保証機関等との連携

○オーストラリアの質保証機関 TEQSA とスタッフ交流を実施

当機構とオーストラリア高等教育質・基準機構（TEQSA：Tertiary Education Quality and Standards Agency）との覚書に基づく協力事業の一環として、平成30年10月22日（月）から26日（金）の5日間、オーストラリア・メルボルンにあるTEQSAにて第4回スタッフ交流プログラムが開催され、当機構から土屋研究開発部特任教授及び国際課職員2名が訪問しました。

プログラムでは、TEQSAが実施するリスクベース評価、ESOS法（留学生のための教育サービス法）に基づく受入留学生の保護、TEQSAと職能団体など他機関との連携、大学評価に対する学生の意見の反映に向けた取組など、連邦政府教育訓練省直属の質保証機関であるTEQSAが、高等教育の質の保証を支援するために大学等に対し様々な働きかけを行っていること等について学び、意見交換を行いました。また、当機構からTEQSAのスタッフ向けに、機構の事業及び日本の高等教育制度の概要についてプレゼンテーションを行いました。

プログラム2日目には、Academy of Information Technology Pty Ltd（高等教育と職業教育両方を提供する私立の教育機関）を訪問し、TEQSAによるCRICOS（留学生受入教育機関・コースの政府登録制度）登録のための訪問調査を見学しました。プログラム最終日には、TEQSAの最高意思決定機関であるコミッション・ミーティングを傍聴しました。

プログラム中、TEQSAのCEOであるAnthony McClaran氏及びチーフコミッショナーのNicholas Saunders氏と面会し、今後もスタッフ交流等を通じて両機関の事業への相互理解を深めることを確認するとともに、今後の交流・連携について意見交換を行いました。

2度目の派遣となる今回のスタッフ交流プログラムは、両機関の事業や高等教育質保証を取り巻く現状についてさらに理解を深める貴重な機会となりました。次回は、TEQSAのスタッフを当機構に受け入れ、交流プログラムを実施する予定です。



Anthony McClaran CEO（左）、Nicholas Saunders チーフコミッショナー（右）との記念写真

評価事業

機関別認証評価等について

○訪問調査の実施

平成 30 年 10 月から、大学、高等専門学校及び法科大学院の評価対象校に対し、書面調査で確認できなかった事項等を中心に、対象校関係者との面談、教育現場の視察及び学習環境の状況調査等により対象校の状況を調査すること等を目的とした訪問調査を実施しました。今後は、書面調査の結果に訪問調査で得られた知見を加えて総合的に判断し、評価結果の取りまとめを行います。

機構の窓

○会議の開催状況

- 学位審査会

第3回 平成30年11月9日（金） 15時00分～16時30分

議事

- 1 短期大学及び高等専門学校卒業者等に係る学位取得者数について
- 2 短期大学及び高等専門学校卒業者等に係る学士の学位授与の審査の付託について
- 3 認定課程修了者等に係る学士・修士及び博士の学位授与の審査について
- 4 認定の再審査の付託について
- 5 特例適用専攻科の変更の届出に係る審査の付託について
- 6 その他

主要行事日程

○ Schedule

12月

日	行事名	担当課
9日	平成30年度10月期学位授与試験（面接）（東京地区）	学位審査課
16日	平成30年度10月期学位授与試験（小論文）（東京地区、大阪地区）	学位審査課
19日	国立大学教育研究評価委員会（第52回）	評価企画課

1月（2019年）

日	行事名	担当課
17日	高等専門学校機関別認証評価委員会（第2回）	評価支援課
25日	大学機関別認証評価委員会（第3回）	評価支援課
31日	法科大学院認証評価委員会（第3回）	評価支援課

2月

日	行事名	担当課
1日	平成30年度人材育成セミナー「IRデータ分析ワークショップ（第2回）」	評価企画課
4日	大学ポートレート運営会議	評価企画課
15日	学位審査会（平成30年度第4回）	学位審査課



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education